

降雪時の避難経路の確保

- ▶ 北海道は地域防災計画に基づき毎年度、北海道防災会議に「北海道雪害対策連絡部」を設置し、関係機関とともに路線の重要性等を考慮してあらかじめ除雪路線を設定し、緊急時についても適切に除雪を実施。
- ▶ 直轄国道及び高速道路については、国土交通省北海道開発局及び高速道路会社(NEXCO)が、除雪体制の強化を図り各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。

※国道等について、積雪深概ね10cmを基準に除雪開始

(凡例) 除雪活動拠点

- : 国(北海道開発局)
- : 北海道(後志総合振興局)
- : 関係町村

除雪機械(例)



<除雪機械の保有台数>

原子力災害対策重点区域13町村		うち、泊村及び共和町
国(北海道開発局)	52台	8台
北海道(後志総合振興局)	63台	9台
関係町村	68台	11台
民間	502台	52台
高速道路会社(NEXCO)※1	40台	—
合計	725台	80台

※1 NEXCO東日本札幌管理事務所の保有台数。
※2 台数は令和2年4月1日現在。

- 国道5号、229号、230号、276号、393号(国)
- 道道、町村道(北海道、町村)
- 札幌自動車道、道央自動車道、後志自動車道(NEXCO)

暴風雪や大雪時における対応

- ▶ 暴風雪や大雪時(原則として暴風雪警報または暴風雪特別警報もしくは大雪警報の発表時)における避難行動では、車の立往生や交通事故等の二次災害を回避する必要があるため、天候が回復するまで屋内退避を優先し、天候回復後の速やかな避難に備えた準備を実施。

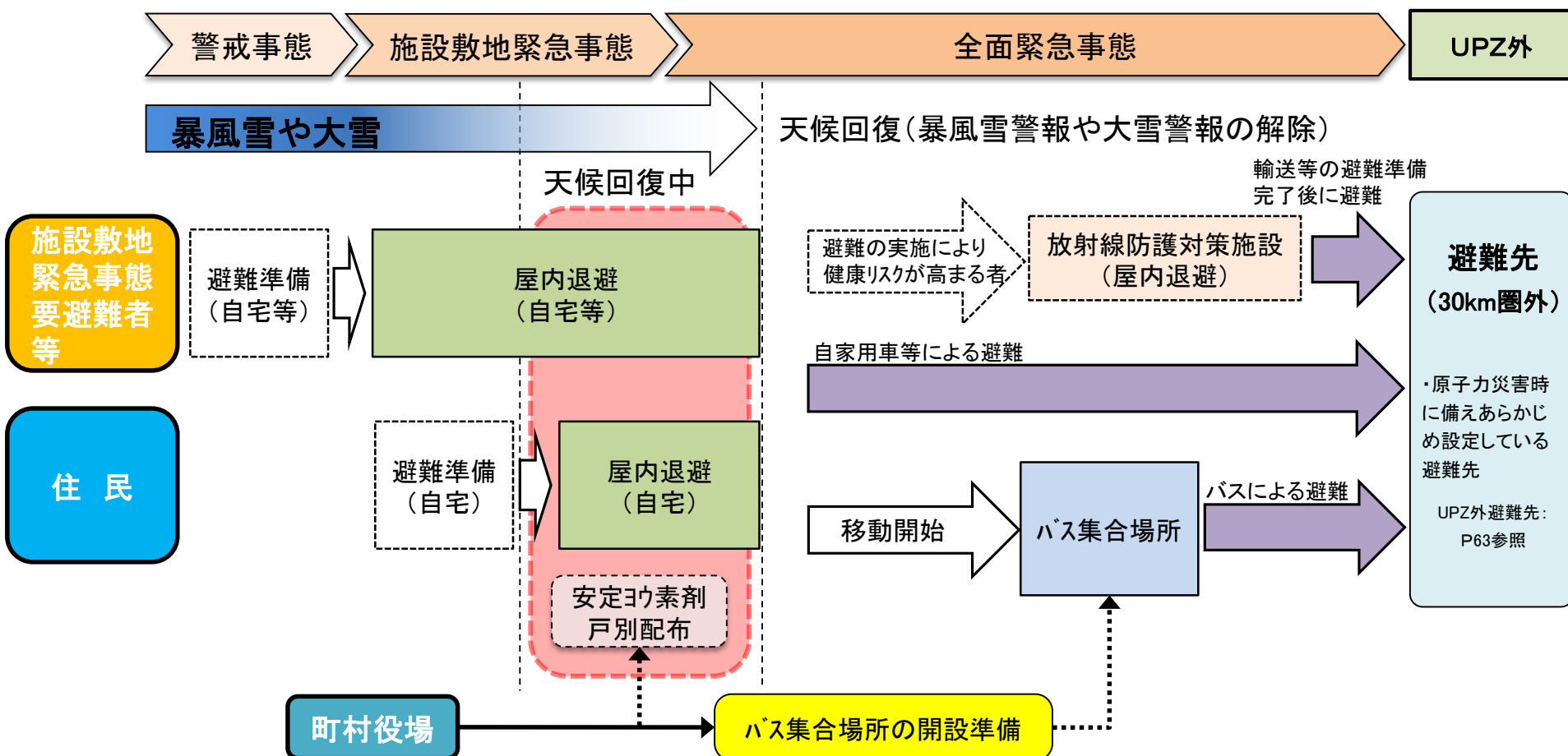
<各緊急事態の区分における暴風雪や大雪時の対応策>

緊急事態の区分	対象住民の区分	対応策
警戒事態	PAZ内施設敷地 緊急事態要避難者等	・避難準備を実施
施設敷地緊急事態	PAZ内施設敷地 緊急事態要避難者等	・避難準備を実施し、屋内退避を優先
	PAZ内住民	・避難準備を実施
	UPZ内住民	・屋内退避を準備
全面緊急事態	PAZ内施設敷地 緊急事態要避難者等	・避難準備を実施し、屋内退避を優先 ・指示に基づく、安定30素剤の服用
	PAZ内住民	・避難準備を実施し、屋内退避を優先 ・指示に基づく、安定30素剤の服用
	UPZ内住民	・屋内退避を実施

暴風雪や大雪時におけるPAZ内の防護措置

- 自然災害との複合災害時において、自然災害による差し迫った危険がある場合は住民の生命の安全確保を優先して対応。
- PAZ内の施設敷地緊急事態要避難者等及び一般住民は、天候が回復するまで屋内退避を優先し、天候回復後は道路状況、プラントの状況等を確認後、避難を実施。なお、避難の実施により健康リスクが高まる者は、輸送等の避難準備が整うまで近傍の放射線防護対策施設へ屋内退避を実施。

<全面緊急事態で天候が回復した場合の例>



※町村の職員は、天候の状況、プラントの状況等を踏まえて対応を実施